

今月の逸品

NO.22 2017.01



郷土写真

台紙 337mm×225mm 1930年代

京都府女子師範学校 郷土研究室

京都府女子師範学校郷土研究室が作成した写真アルバム。黒地の台紙に1枚ないし数枚の写真と解説文を貼付したもので、写真が欠落したものも含め、130枚の台紙が伝わっている。京都市内の寺社を中心に、城南や丹後の情景、学校足下の淀・伏見から稲荷にかけての風俗、さらには北海道・樺太の景観を写した写真が存在する。1933（昭和8）年に郷土研究室が発行した『郷土教育の概要』には、250点以上の写真の所蔵が記されているが、そこには現存写真と対応する名称を確認することができ、昭和8年以前の写真が基本になっているとみてよい。ただし、稲荷・伏見・淀を撮った写真には、1937年の年紀を裏面に記すものがあり、その後の増補がうかがえる。1930年における師範学校への郷土研究設備費の交付、翌年の師範学校規程および教授要目の改正によって、各師範学校は、郷土研究室を整備して郷土教育に力を注ぐこととなるが、このアルバムは、京都府女子師範学校での郷土教育の実態を考える上で、格好の資料といえる。



宇治川鷄匠



国境標石（樺太）